

議員提出議案第9号

乳幼児医療費無料の制度を国に求める意見書

このことについて、下記のとおり、内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣に意見書を提出する。

平成10年12月22日

提出者 三朝町議会議員 御 船 征 夫  
賛成者 三朝町議会議員 山 田 道 治  
賛成者 三朝町議会議員 倉 本 良 人  
賛成者 三朝町議会議員 岩 本 君 美  
賛成者 三朝町議会議員 平 井 晃  
賛成者 三朝町議会議員 知久馬 二三子

平成10年12月22日原案可決

三朝町議会議長 西村武津美

乳幼児医療費無料の制度を国に求める意見書

消費税・医療費負担増が国民に重くのしかかり、先がみえない不況のもとで、若いお母さんたちの「家計が苦しい」「アトピー児を抱え医療費がたいへん」と乳幼児医療費の無料化への願いは切実です。

乳幼児医療の無料化は、全都道府県でなんらかの医療費助成が実施されるまでになりました。1998年1月現在、3歳未満児までの通院・入院とも無料化を実施しているのは27都道府県、市区町村段階でも2,379市町村、73.1%が、医療費無料制度を実施するにいたっています。所得制限をしない100%無料化の実施は27都道府県、現物給付は18都道府県、6歳未満児までの無料化は8道府県となっており、「少子化」への対策としても多くの市町村で次々と拡充しています。

国会でも、厚生大臣は、地方自治体の乳幼児医療無料制度を「各地方自治体が支援策を進めているというのはいいこと」と評価されました。「乳幼児医療無料化を」は大きな世論となっています。

『厚生白書』によれば、理想子ども数は2.6人なのに、理想の数の子どもをもてない理由は「育てるのにお金がかかる」「教育にお金がかかる」で5割をこえています。子育て中の若い世帯は収入が低く、社会的な支援策の強化が求められています。都道府県、市町村の努力により多くのところで実施されてきているものの、自治体ごとの格差は大きく「住んでいるところが違うだけで、医療費のかかる子とかからない子がいるなんて・・・」と、国の制度化を求める願いが世論となって広がっています。

政府として、時代を担う子どもたちの健やかな成長を保障し、若い父母が安心して子育てできるように、乳幼児医療費無料を国の制度として一日も早く実現していただきたく、地方自治法第99条第2項により意見書を提出いたします。

平成10年12月22日

鳥 取 県 三 朝 町 議 会